

主な内容

- 2～5面
 - ・一般質問
 - ・常任委員会審査報告
 - ・特別委員会概要
- 6面
 - ・議決結果一覧
 - ・陳情



拡幅整備前

拡幅整備後

▲拡幅整備が行われた狭あい道路

建設環境委員会で審査され、質疑に対し、「市道で後退を要するところが約85キロメートルあり、私道についても7キロメートルほどある。また、隅切りを要する箇所は、多数あると認識している」「奨励金、助成金の基準を定める上で、路線価の評価額に合わせ、後退用地は10分の1、隅切り用地は2分の1とすることを

今定例会で市長から、「府中市狭あい道路の拡幅に関する条例」についての議案が提出されました。この議案は、狭あい道路の拡幅を推進し、市民の生活環境の向上を図り、安全で快適な災害に強いまちづくりを実現するため、条例を制定するものです。主な内容として、市には、狭あい道路の拡幅に関する施策について周知を行い、総合的かつ計画的に実施する責務があることを、市民等には、市が実施する狭あい道路の拡幅に関する施策に協力するよう努める責務があることを定めています。また、拡幅整備工事を行った場合に、後退用地・隅切り用地について寄附又は無償供用の承諾を行った者が、当該用地の内にある物件の除却または移設を行ったときは、それに要した費用について助成金を交付できることを、後退用地等を寄附した者には奨励金を交付できることを定めています。

予定している「助成金と奨励金を併せ持つのは、多摩地区では初めてである」等の答弁がありました。委員から、「狭あい道路拡幅推進には、市民の理解、協力が不可欠であり、様々な媒体を駆使し、周知徹底に努めて欲しい。市がより災害に強いまち、より住みよいまちを実現することを大いに期待し、本案に賛成する」「狭あい道路の拡幅の推進は防災の面からも大事であり、奨励金等の交付により市民に協力を促すことが、成果につながっていくと考えられるため、本案に賛成する」等の意見がありました。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定し、最終日の本会議において、建設環境委員長から審査報告があり、審議の結果、全会一致で可決されました。

さきの大戦で犠牲になった人々の遺骨が入った土砂を埋立てに使用することは人道に絶対に対すことはできない。よって、本市議会は、政府に対し、沖縄戦没者の遺骨が混じる土砂を埋立てに使用しないよう求める。

沖縄県は、推計で2825体の未収容遺骨が今も地中に残っているとされている。

意見書（要旨）
◎沖縄戦没者の遺骨等が混じる土砂を埋立てに使用しないよう政府に求める意見書
沖縄戦では一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、沖縄県民の4人に1人、そして日本全国から派遣された兵士の多くの貴い命が失われた。糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある「平和の礎」には、沖縄戦などで亡くなられた24万1593名の氏名が刻銘されている。

令和3年第4回定例会 府中市狭あい道路の拡幅に関する条例など 31議案を審議

令和3年第4回市議会定例会は、11月29日から12月15日までの17日間の会期で開催されました。市長提出議案は、府中市狭あい道路の拡幅に関する条例など28件を審議した結果、すべて可決となりました。議員提出議案は3件を審議した結果、可決2件、否決1件となりました。また、陳情6件が審議されました。

定例会日誌

- (次の日程で開催しました)
- <11月>
 - 29日 本会議(委員会付託等)
 - 30日 " (一般質問)
 - <12月>
 - 1日 " (")
 - 2日 " (")
- 公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会
- 3日 総務委員会
 - 6日 文教委員会
 - 7日 厚生委員会
 - 8日 建設環境委員会
 - 9日 基地等跡地対策特別委員会
 - 10日 市庁舎建設特別委員会
 - 13日 学校施設老朽化対策特別委員会
 - 15日 本会議(常任・特別委員会審査報告等)